

卒業生の皆さんへ ～ 校長からの正門横掲示板 メッセージ ～

今、やりたいことがあるのなら、精一杯そのことにチャレンジしよう！  
もし、やりたいことがないのなら、目の前にあることに精一杯取り組もう！



### 変化が激しい時代を生きる皆さんへ

高く伸ばしたアンテナと  
高感度の受信機を使って  
巷に溢れている  
正誤が混在する情報の中から  
正確で必要なものを  
しっかり選んで手に入れたら  
自分の進む道を自分で考え判断し  
自信を持って行動することが出来る  
そういう人に皆でなろう

正解が、一つだけなら楽だけど  
周りを見ればそれだけではない  
正解が、何一つ見えない問い  
どれもが、正解に見える問い  
そんな問いに、立ち向かうときの心構えは  
正解なんてないんだから、近道だってない  
そう思えば  
自分の毎日の頑張りが  
無駄だなんて思わない

### 思いを大切に

ここは誰にも見えないけれど ころづかいは見える  
思いは見えないけれど 思いやりは見える  
お互いに ほんの少しの気配りと ありがとうを送りましょう



### 言葉を大切に

私たちは、言葉を使って  
誰かと想いを伝え合ったり  
自身の頭で考えたりする  
沢山の言葉は世界を広げ  
汚い言葉が巷に溢れると  
視界が暗くなるように思う  
だから、使う言葉をしっかりと考え  
そして、大切にしよう

### 時間を大切に

今を精一杯生きることを積み重ね  
笑って振り返る過去と  
笑顔満ち溢れる未来を  
みんなでつないで創っていこう

卒業おめでとう。  
卒業生の皆さんのご活躍とご多幸を祈念します。

令和4年3月1日

奈良県立高取国際高等学校長 渡部 憲一

\*\*\* 校長室だよりからの抜粋 \*\*\*

さて、点（一瞬）はつながるもしくは動く線（経験）になります。私たちが生きるその時々  
に心を込め、日々を大切に送ることこそが、何よりも上で述べたような、伝統や時間、そして人  
と人を「つなぐ・つながる・つなげる」ことだと思いたしますが、いかがですか。本校での様々な学  
びが、皆さんの日常を豊かにするよう心がけていきましょう。（4月）

素敵な本を読むと、食事でお腹が満ち足りるように、心が豊かになります。適度な食事を摂る  
ことが身体に必要なように、もし読書の機会に恵まれなければ、限られたものの見方や考え方し  
かできなくなりかねません。ネットやウェブで瞬時に多様な情報を手に入れることもできますが、  
一つのまとまった塊として書籍に向き合うのとは、求められる集中力が自ずと違います。凄い  
人や本と出会うとエネルギーが要るのは、そういうわけです。

皆さんの周りには、心を豊かにするたくさん本が出会いを待っています。（6月）

まず、自分は今どんなことができるのだろうか、と考えることが最初の一步。そして、その一  
歩を踏み出すときには、正確な情報を手に入れ、いろいろな意見を吟味して、自分自身で考え判  
断し、その判断をもとに自ら行動することが、これからの私たちに求められる力だと皆さんに伝  
えてきました。もしその逆に、不確かな情報を頼りに自分の都合のみを優先し、他者が決定した  
判断をもとに、その行動全てを委ねてしまえば、悩みや苦労は少なくとても楽ですが、決してお  
すすめできません。リモートでの終業式でも引用した相田みつをさんの詩にあるとおり、「いま、  
ここ、の 具体的な一歩」を自身の足で積み重ねていくことが、とても大切だと思います。（8月）

昔懐かしい固定の（プッシュ式でなくダイヤル式の）黒電話しかなかった頃の不便さは、今は  
ありません。どこからでも電話で声（時に画像まで）が伝えられるし、メールで（絵）文字も送  
れます。しかし、その便利さと引き換えに、私たちの手の中からこぼれ落ちているものはないだ  
ろうかと、最近考えることがよくあります。やっぱり、同じ空間の中で直接目の前にいる人と思  
いや考えをやり取りすることは、どれだけ面倒なことでもかけがえのない大切な時間に思えます。  
（9月）

「頼る力」。言い換えるならばそれは「感謝を示す力」であり、「生きる力」だ。一生懸命に  
努力しておれば、つまずいても、誰かが手を差し伸べてくれる。（10月）

言葉のやりとりをしている内に、あるいは相手のことを考えている内に、どんどん一つの色だ  
けに染まっていく（染めていく）。最初はやりとりができていたキャッチボールが、知らぬ間に  
ドッジボールになっていたとは、笑い話にもならないことがなんと多いことか。

自分は絶対に正しくて相手は間違っていると、白黒はっきり付けると思考は停止するし、二項  
対立の激しいやりとりの中でお互いが傷つくことになってしまいます。

私たち人間は完全に正しいことばかりができるわけではないと考えます。だからこそ、グラデ  
ーションの落としどころを相談し合う思慮はとても必要だと思います。（12月）

願いが叶うよう祈ると同時に大切なことは、運を引き寄せるための日々を歩むこと。

私たちに出来るのは、その時々を精一杯に生きること。『人事を尽くして天命を待つ』の言葉  
のように、新たな目標に向かって、毎日をより丁寧に精一杯やり尽くすことが大切だと考えます。  
（1月）